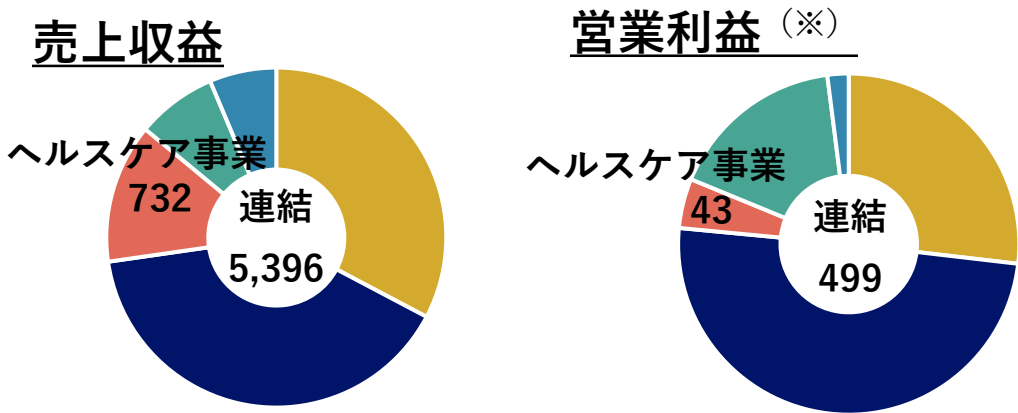


ヘルスケア事業

執行役員 山口 達也

2022年3月期 単位：億円



(※) 2022年3月期の営業利益割合は全社費用控除前で表示

主要製品・サービス

生物顕微鏡 網膜画像診断機器 細胞受託生産(CDMO事業)



ありたい姿

イノベーションを通じて、人々のクオリティ
オブライフの向上を支援

財務目標

	2023年3月期	2026年3月期
売上収益	800億円	900億円
営業利益	60億円	100億円
営業利益率	8%	11%

ありたい姿

イノベーションを通じて、人々のクオリティオブライフの向上を支援

運営方針

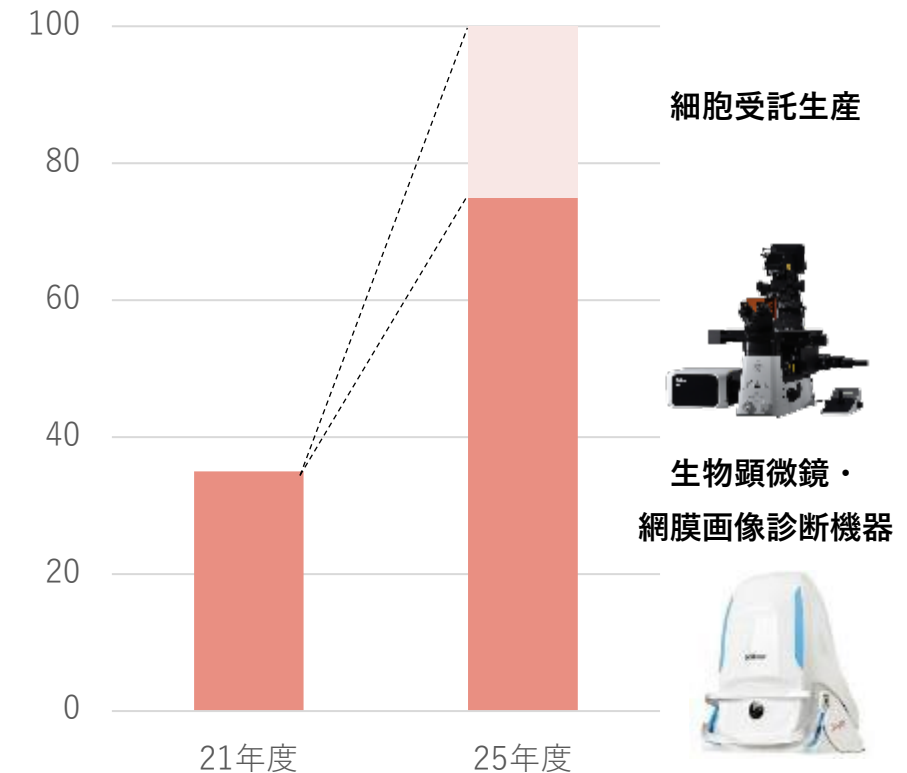
- ✓ **生物顕微鏡**
 - ・ デジタル化、アプリケーション開発強化、原価低減により収益性向上
- ✓ **網膜画像診断機器**
 - ・ 診断の高度化や在宅化・遠隔診断などに対応（AI診断・OCT機能の付加など）
- ✓ **細胞受託生産**
 - ・ 再生医療等製品分野で国内最大級の生産能力活用
 - ・ 大手製薬企業や有力創薬ベンチャーと多数のプロジェクト推進、営業利益数十億円規模へ

収益計画

2025年に営業利益100億円規模へ

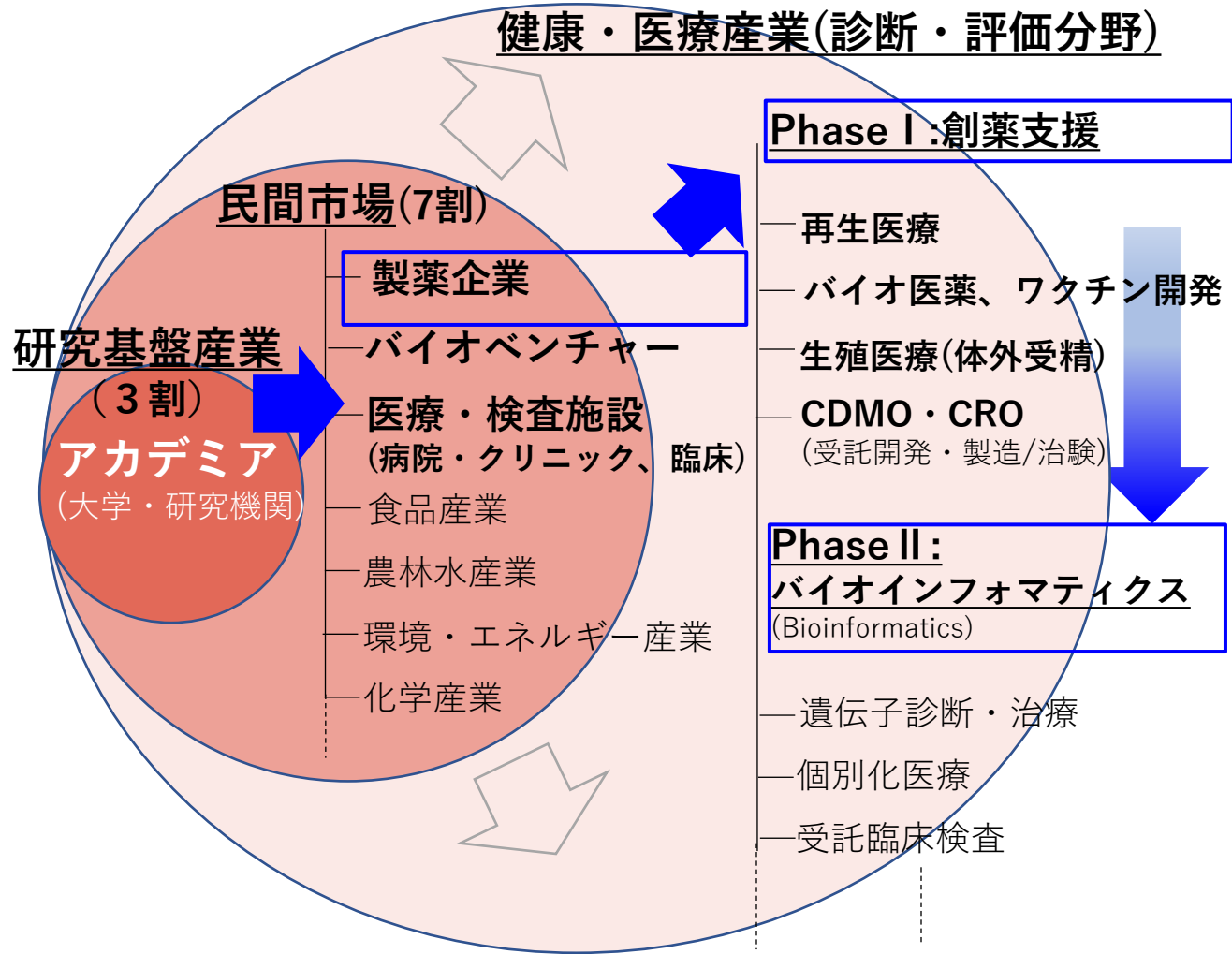
ヘルスケア事業の方向性

営業利益（億円）



市場規模

生物顕微鏡市場:4,000億円(※)
(バイオテクノロジー産業)



ニコンの差別化技術

長年培った顕微技術に基づく画像解析・評価手法と細胞培養のノウハウ・知見

Phase I (～2025年)・・・成長基盤構築

- ・アカデミアで獲得した技術の創薬支援への応用
- ・日米欧で創薬支援拠点を開設
- ・アプリケーション開発の強化と製薬/バイオベンチャー企業へのソリューション提案の強化



Phase II (～2030年)・・・産業化支援

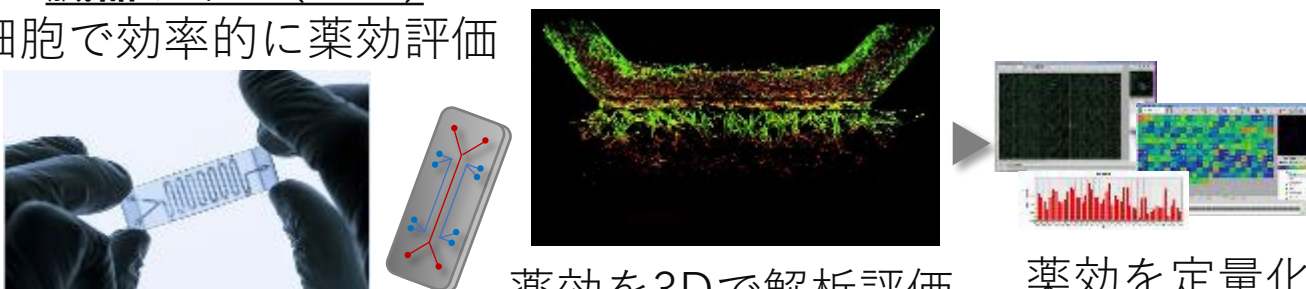
- ・臨床画像や遺伝子データ分析/解析による新たな臨床モダリティの開拓、病理診断支援
- ・薬効評価や再生医療薬生産の自動化、多品種少量化への取り組み

創薬支援：3つの市場へのアプローチ

1
低分子医薬品

細胞を使って
薬の効果を評価

臓器チップ(OoC)
細胞で効率的に薬効評価



薬効を3Dで解析評価

薬効を定量化

機器

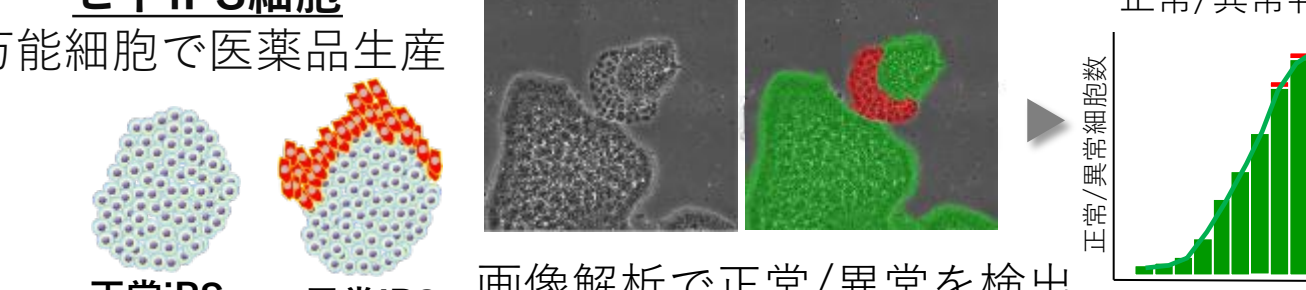


共焦点顕微鏡

2
再生医療製品

細胞を医薬品として
安定的に生産

ヒトiPS細胞
万能細胞で医薬品生産



正常iPS 異常iPS

画像解析で正常/異常を検出

正常/異常判定

培養時間(h)

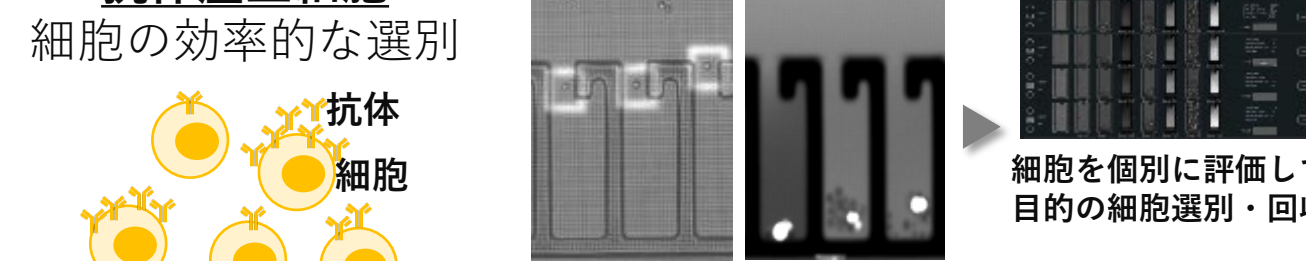
細胞観察装置



3
抗体医薬品

抗体産生能力の高い
細胞を選別

抗体産生細胞
細胞の効率的な選別



抗体細胞

細胞を個別に評価して
目的の細胞選別・回収

細胞操作 産生能力評価

細胞研究開発用多目的
プラットフォーム



イメージングセンター

世界の最先端施設で共同研究・協業・研究支援活動を実施

Nikon BioImaging Lab

創薬研究・開発支援施設

欧州(17施設)

2021年9月開設

オランダ



アジア(5施設)

2021年7月開設

日本



米州(19施設)

2019年7月開設

米国

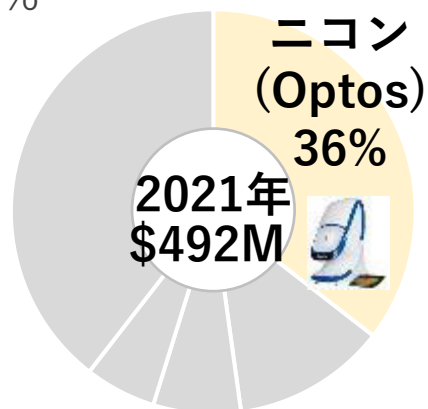
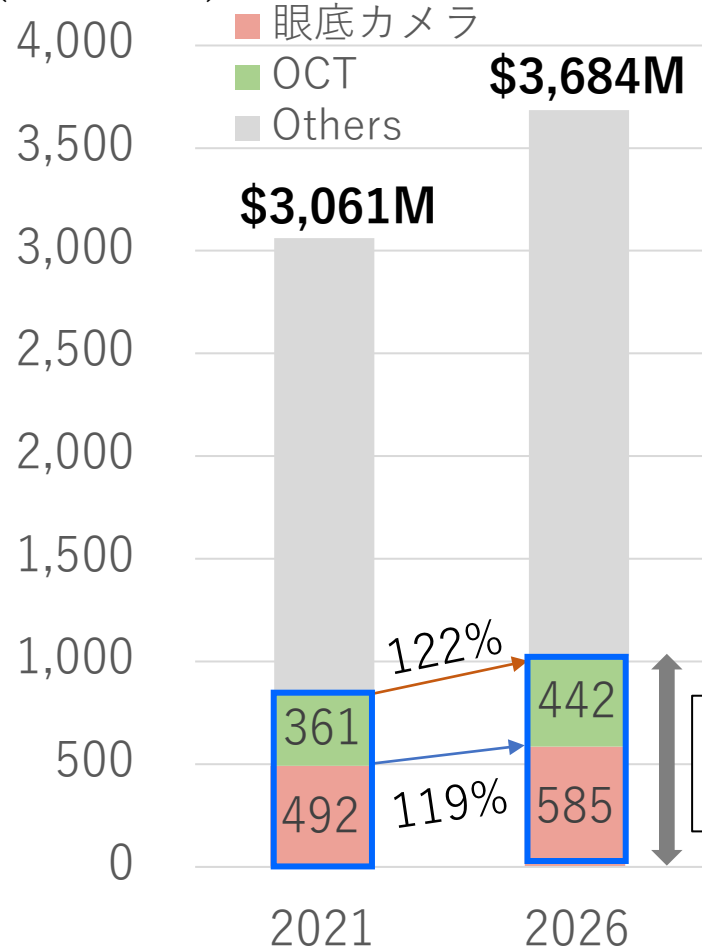


市場規模

金額市場シェア

眼科診断機器 市場規模(※) CAGR:3.8%

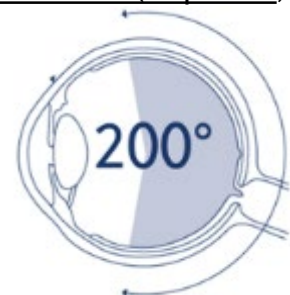
(USD Mil.)



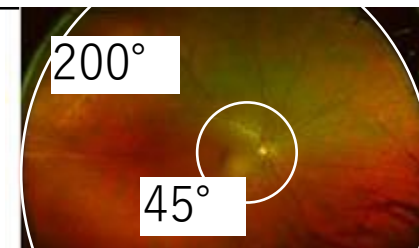
Optosの差別化した技術

Nikon(Optos)

一般的な眼底カメラ



約8割



眼底の約8割を超広角(Ultra Wide Field),無散瞳,超高速(0.4秒)撮影

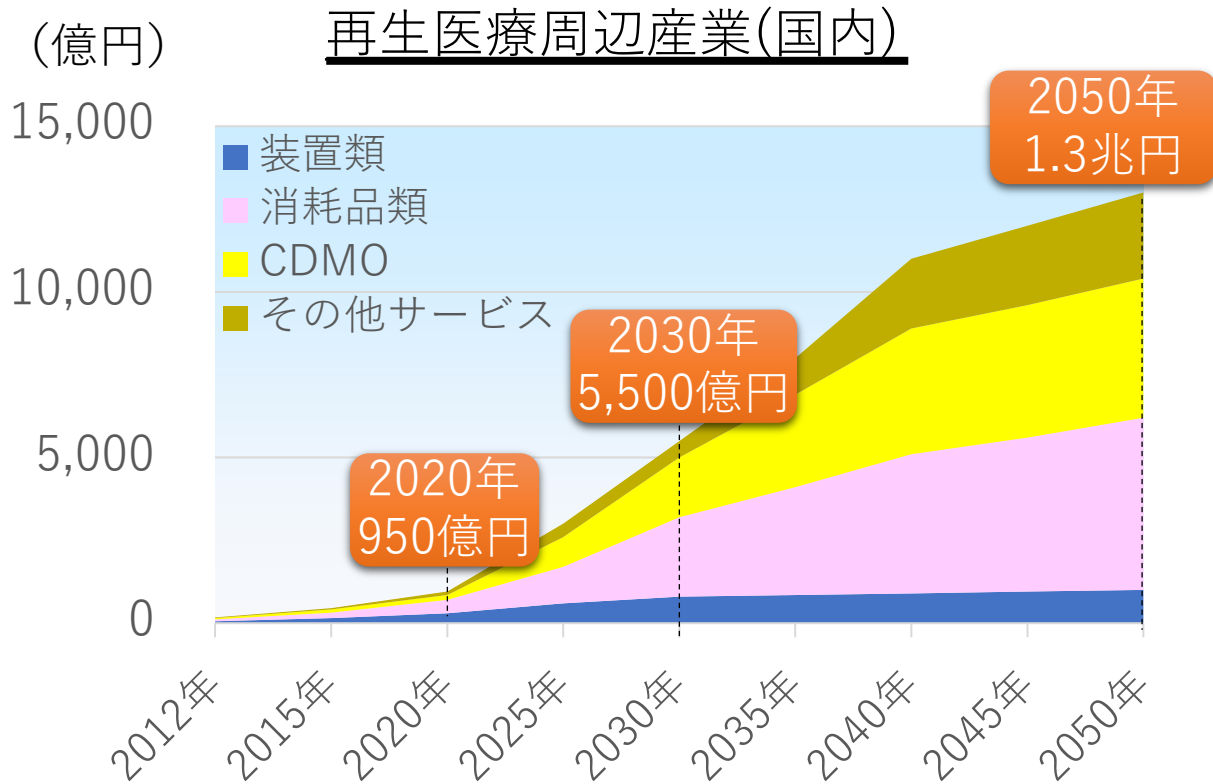
Phase I (～2025年)・・・市場開拓、新技術開発

- ・ 欧州/アジア市場の開拓で数量シェア(現状:10%)を向上
- ・ 眼科医市場への拡大(現状：検眼医＞眼科医)
- ・ 新デバイス開発(機器,ソフトウェア)、診断支援技術の獲得

Phase II (～2030年)・・・診断支援システム開発

- ・ 診断の高度化(複合診断)と在宅補助診断
- ・ 医師の確定診断支援システム、疾患の予防と予後管理

市場規模 (※)

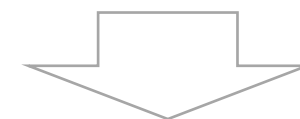


ニコンの取組・特徴

- 細胞受託生産世界最大手のLonza社との業務提携
- 日本最大級のGCTP/GMP(※)準拠の生産設備(7,500m²)
- プロセス開発から商用化生産まで一貫した受託サービスの提供
- 国内での数多くの臨床及び商用化プロジェクトの実績

Phase I (～2025年)・・・再生医療産業のインフラ構築

- 既存プロジェクト拡大 (治験・商用生産拡大)
- 有望パイプラインの取り込みと実績/ノウハウの蓄積
- 施設拡充と安定稼働に向けた戦略的投資



Phase II (～2030年)・・・再生医療が標準治療に成長

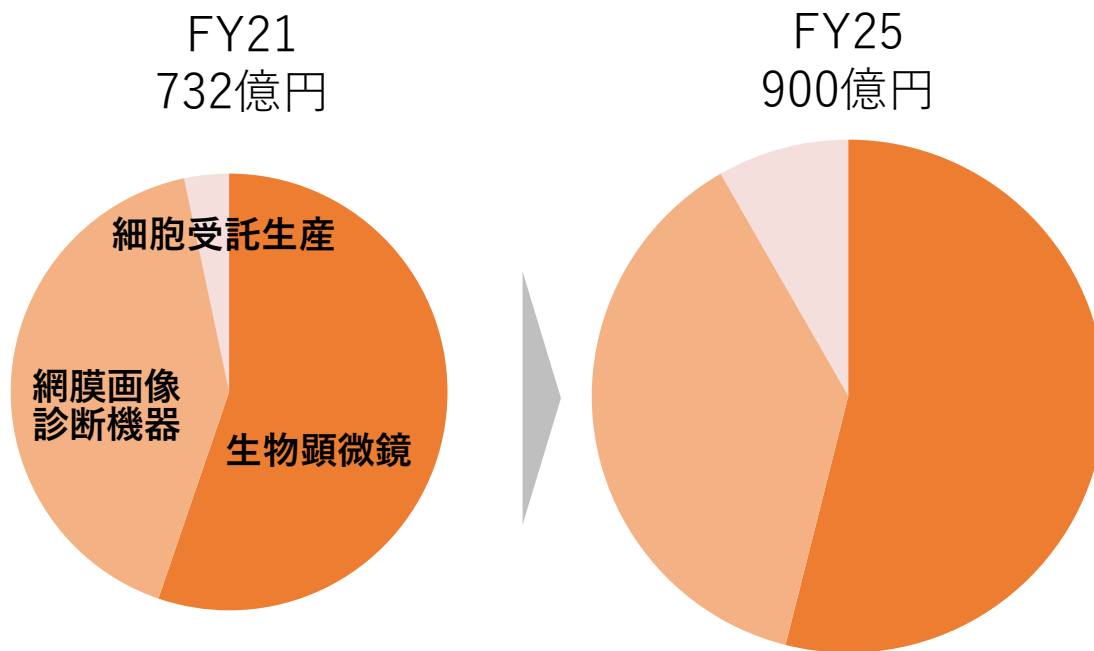
- 大量生産対応 : 他家による大量培養
- 多品種生産対応 : 自家による多数バッチ同時培養

(※)令和2年3月 経済産業省 再生医療・遺伝子治療の産業化に向けた評価検討会 資料を元にニコン予測

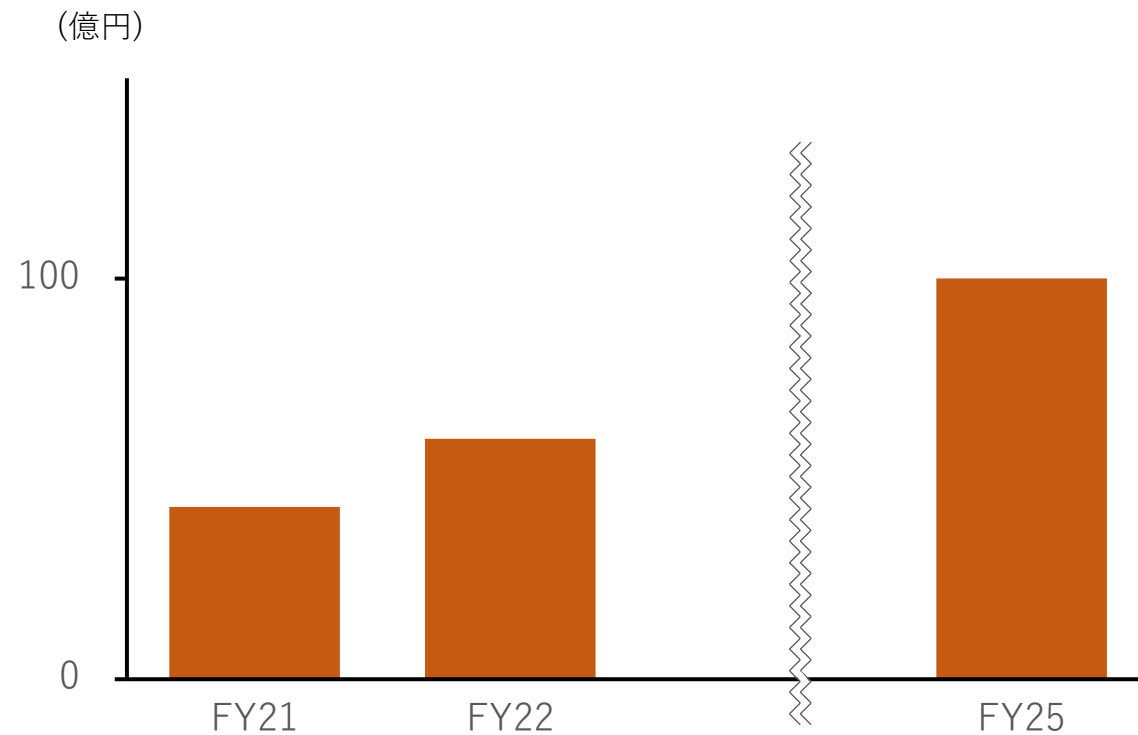
※GCTP(Good Gene, Cellular, and Tissue-based Products Manufacturing Practice) : 再生医療等製品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令

※GMP(Good Manufacturing Practice) : 医薬品及び医薬部外品の製造管理及び品質管理の基準に関する省令

売上収益



営業利益



2025年に営業利益100億円規模へ